

みなしご通信



野良猫 馴らすと虐待の標的に

犬猫みなしご救援隊栃木拠点には白黒ちゃんと黒ちゃんという名前の野良猫が棲みついています。2匹とも去勢手術も終わっているから落ち着いていてほとんど敷地外には出ません。この子たちの動きを見ていると

シと触って馴らしてしまつたから最近ではほんもおやつも食べさせてくれないこんなケチなヤツにもこの通り逃げもしません。

《親友K》が言うことは正しい、と思いましたが。白黒ちゃんと黒ちゃんはうちの犬たちにも馴れてしまい犬たちが敷地内お散歩のときは一緒に歩いています。こゝゆゑ動きはかわいいんですけどね…。

親友Kは餌やりにいつも言っています。「野良猫に食べ物を与えるのはいいですけど絶対に馴らさないでください！悪い人が近づいても逃げない猫になり虐待のターゲットにされちゃい

写真は先月までまったく近づけなかった黒ちゃんです。黒ちゃんから見ると私って人間はごはんもおやつも食べさせてくれないケチなヤツ使えんヤツです。だけど、うちの者たちが白黒ちゃんと黒ちゃんをヨシヨ



ますよ！」こんなに警戒心がないと確かに怖いね。もし私が悪い人だったら黒ちゃんはいらい目に遭います。

本当に《その子のことを

考えるなら》触ったりして馴らしちゃダメです！人間はいい人と教えちゃダメです。そこら中にクソやカスはいますからね。野良猫に馴れてもらいたいと思うなら家に連れて帰って飼いなす猫にしましょう！家に連れて帰ることができないのなら、孤高の精神で強く生きていくように仕向けることこそ野良猫に対する餌やり

熊にドロップス

カツです！残り少なくなつたサクマ式ドロップスをどうぞ♪その昔、あきらがまだ子猿だったころ…うっかりミスで栃木拠点で逃がしてね。うちの雑木林の高い木に登ってしまったので『あきら！飴ちゃんじゃ！』と大好物のサクマ式ドロップスの缶をカラカラと振つたら「それください！」と



木からスルスルと降りてきて手を出したので『ほんじゃ帰ろ〜か！』と事なきを得たことがあり、その後もお猿さんに食べさせるのにみなしごバスには常時サクマ式ドロップスがあつたんです。それが今はないわけじゃから…いろいろ思い出すとねえ。寂しいつすよ！

儲かるTNR?

TNRに介入する獣医は志が高く愛護精神があり猫のことを一番に考え自分たちボランティアに協力してくる優しい獣医だ…と思いがちですが違います！世の流れとともに腕のない獣

医のかつこうの食いブチとなり、TNR手術はすきま産業化しています。手術代を安く設定してワクチン接種やなんだかんだをオプションにし、結果きつちり儲けとる！ボランティアからしつかりかすり取つとる！

実際に私の元にも「手術の協力しますよ」と言ってくる獣医師はたくさんいます。が私はなにをするにしても量より質。数字より内容で勝負するタイプなのでその獣医師がどれだけの気持ちでいるのか、どれだけの腕を持っているのか…そこらをきちんと見極め間違いないと思えない限り協力を仰ぐことはしません。明日には野に放たれる野良猫のことを《本気で考えろ》とワイヤー結紮したりワイヤー縫合するような腕のない獣医や、愛護とは言葉ばかりの薄っぺらい気持ちの獣医に手術を任せちゃダメ！

もし私がそんな獣医と組んだら…うちの支援者さんは正しい目を持ってますからね、次の日には私から去つ

母ギツネ戻る

て行くでしょうし地方のTNR仲間も私のことを軽蔑すると思います。そくなつたら中谷百里は死んだも同然！私はそんなバカなことは絶対にしませんよ。それが私の自称・動物愛護家としてのプライドじゃしね。

3月26日広島本部TNR一斉の朝、参加していた人から「向こうでなにかの動物が車にひかれました」と言われ、うちの者が駆けつけると路上でバタバタしていたのはギツネでした。朝、明るいのにギツネが居たということはメスカな…。そのギツネは血まみれでした。痛み止めを打ち、止血して静かにさせて数時間落ち着いたので見てみたらメスでした。やっぱりね、妊婦かな：お腹がすいてるかから明るい時間帯でも出て来たんでしよう。

いずれにしても鎮静・麻酔で眠らせ骨折がないか調べて、なんの出血か知るためにお腹を開けて、お腹を開けるなら同時に避妊もしよう：避妊するならまず小さく開けて出血量を見てそれから考えよう！そう決めました。骨折、してない！お腹を開けるとあら、そこまで出血してない！これ、イケるよ！私はガゼン色気が出ました。



ただひとつ気がかりなのが母乳が出たことと子宮が少し腫れていたこと。そうなんです！子どもを産んどつたんです！子宮の戻り具合から出産後10日以上は経つとる。明日の朝、元気に起きていたら子どものもとへ返そう！朝、目覚めていました。ヨシ！イケる！10時過ぎに放そう！うちの裏に連れて行きました。ケージを開けるとギツネちゃん は軽快に走り階段を上って人間が立ち入らない堤防の上に行きました。ごはんはうちに食べおいで！子どもの分もあるけえね♪

外飼いはNG

外飼いと言え、3月27日に呉市のセンターから負傷猫が来しました。意識は薄く首輪があるから飼ひ猫なのか：馴れているかどうか、動かないから調べようもなく、手の傷は骨が出るぐらい深く、内股の毛が抜けている部分に重度の内出血：ほかにも毛をかき分けて見てみるといたるところに内出血。おそらくこれは打ち身による内出血ではなく、内臓が破れて出ている血じやないかと思われます。交通事故に遭ったのでしよう。だとしたら回復は難しいのう…と感しました。翌日、「自分の家の猫が帰ってこない」とセンターに問い合わせた人がうちに見に来られたんですが、その人の猫でした。『正直、この状態だとなすすべがないのでおうちで静かにさせてあげてください』と伝えらると、飼ひ主さんは泣いておられました。ですがこの子はこれまでもちよこちよこ外に出ていたそうで、それをあやふやに黙認しないで外に出さないように厳しく管理していたらこの子が交通事故に遭うことは絶対になかったので『今さら泣いても遅い』と言いたかつたですが私も年を取ったのか『気をつけてお帰りください』と見送りました。

NPO法人 (特定非営利活動法人) **犬猫みなしご救援隊**
www.minashigo.jp

犬猫みなしご救援隊
〒731-0234
広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2
TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711

YAHOO! JAPAN ネット募金

つながる募金
▲ネットやスマホで当団体に募金できます

本紙は中谷百里代表ブログ「みなしご庵へようこそ」の記事を抜粋したものです。

みなしご通信のバックナンバーは、公式ページに掲載しております。「みなしご通信」で検索してみてください。